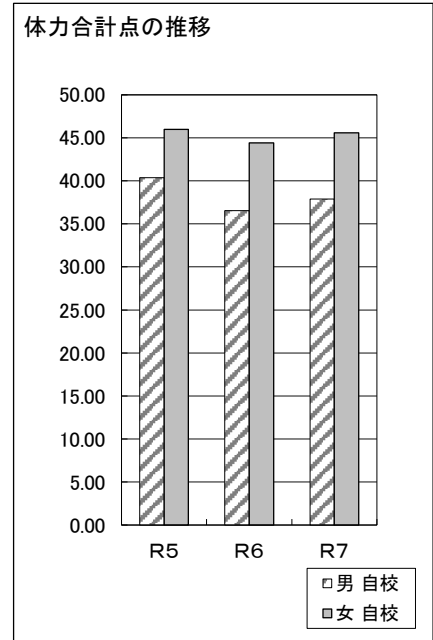
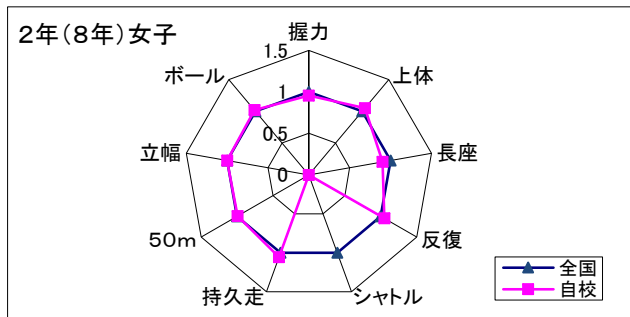
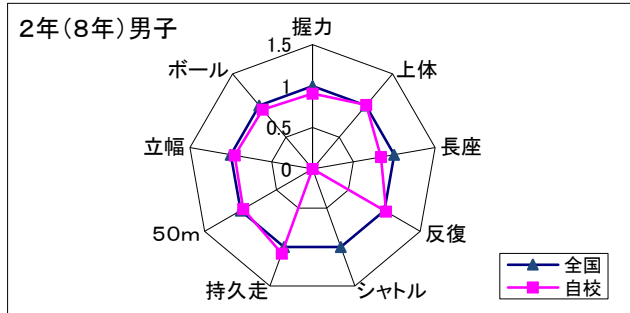


学校名	中01 仁方中学校
-----	-----------

1 自校の実技結果と全国平均との比較

学年	性別		R7平均値									体力合計点		
			握力 (kg)	上体 (回)	長座 (cm)	反復 (点)	シャトル (回)	持久走 (秒)	50m (秒)	立幅 (cm)	ボール (m)	R5	R6	R7
2年	男	全国	28.91	25.99	44.98	51.63	78.59	410.24	8.00	197.50	20.66	41.18	41.69	42.06
		自校	26.30	26.20	37.60	52.90		376.00	8.29	188.10	19.30	40.38	36.53	37.90
		比較	△	○	△	○		○	△	△	△	△	△	△
	女	全国	23.12	21.62	46.97	45.77	50.44	310.35	8.97	166.39	12.36	47.08	47.22	47.46
		自校	22.10	22.67	42.33	48.05		293.00	9.04	166.57	12.62	46.00	44.42	45.59
		比較	△	○	△	○		○	△	○	○	△	△	△

※全国平均以上の種目…○ 全国平均未満の種目…△



2 重点種目の結果についての分析

呉市の重点種目	中学校区の重点種目 ※義務教育学校は、自校の重点種目	自校の重点種目 ※義務教育学校は、後期課程の重点種目
50m走	持久走	ハンドボール投げ
<p>〈成果と課題〉</p> <p>男女ともに前年度の記録から0.5秒以上速くなっているが、全国平均の記録には届かなかった。しかし、全国平均との差は男子は0.29秒、女子は0.07秒と僅差である。引き続き、くれチャレンジマッチ内でのシャトルリレーや各単元での補強運動を継続的に行う。</p>	<p>〈成果と課題〉</p> <p>男女ともに全国平均を上回る記録となった。体育の授業前に必ず行う3分間走によって、走持久力の向上が見られたと考える。長距離走の単元では、楽しんで走ることが心にかけているが、まだ走ることに苦手意識が高い生徒も多いため、レース形式以外の授業を行って苦手意識を無くしていきたい。</p>	<p>〈成果と課題〉</p> <p>男子は全国平均にあと一步届かない記録となった。女子は全国平均を越える結果となった。シャトルスローリレーの実施が投球動作の練習につながったと思われる。シャトルスローリレーやくれチャレンジマッチの実施をさらに活発に行っていく、補強運動の種類を増やしていく。</p>

3 生徒質問紙調査の結果及び分析

運動やスポーツをすることが好きな生徒の割合		朝食を毎日食べる生徒の割合		1週間の総運動時間が60分以上の生徒の割合	
男子	全国 90.9 自校 90.9	男子	全国 82.0 自校 90.0	男子	全国 90.2 自校 100.0
女子	全国 77.2 自校 58.1	女子	全国 74.6 自校 79.0	女子	全国 78.3 自校 70.0
<p>〈成果と課題〉</p> <p>男子はスポーツをすることがやや好きな人の割合も含めると100%が肯定的な評価となった。女子は58.1%と全国平均と比べ大幅に低い結果となった。また、嫌いと回答した割合は16%であった。学年1クラスであることから、男子のスポーツへの肯定的な意識を女子と共に高めたいけるような共修を行う。</p>		<p>〈成果と課題〉</p> <p>男女ともに、全国平均を上回る結果となった。しかし、朝食を食べないと回答した生徒が男女ともにいた。食べないと回答する生徒を0にしていきたいので、保健の授業での食生活に関する分野だけでなく、規則正しい生活や、睡眠、休養の重要性も併せて徹底して授業を行う。また、保護者の方へもたよりや通信等で啓発していく。</p>		<p>〈成果と課題〉</p> <p>男子は全員運動部に所属しているということもあり、100%を達成した。女子は文化系の部活の生徒が60分以上の運動を行っていないと考えられる。運動に対するハードルを高く考えている生徒が多く見られるため、ウォーキングや家でもできる簡単なエクササイズ等を授業に取り入れる。</p>	